

第124号
夏休み特集

藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

静岡県大会 Best4 第107回全国高等学校野球選手権 静岡大会 輝いた挑む夏!!



毎年恒例の野球応援今年は一足早き活動に力が入りました。私たち応援指導委員会は夏の野球応援に向けて校歌の型、エールなど様々な練習を行い、校外の方々の力をお借りしながら選手の方々の力になられるよう尽力してきました。この夏、一層力のこもった応援をチャアリーディング部、吹奏楽部、一般生徒の方々と一緒に、野球部に届けられたと思います。

私は委員会に入って3年目ということもあり、組織のリーダーを務めながら委員会の活動を維持するべく、日頃から後輩への応援指導に力を入れてきました。誰よりも声を出すことを心掛け、全力で応援に臨みました。この3年間は精神面、身体面においても成長でき、いい経験になったと感じます。

改めて、今まで活動に協力してくださった先生方や生徒の皆さん、最高に熱い試合をしてくださった野球部の皆さんにこの場を借りて感謝いたします。



応援委員会委員長
37 HR 木村 一稀
(藤枝市立洲中出身)

躍動

私たち野球部は、6月29日から7月28日に行われた第107回全国高等学校野球選手権大会静岡大会に出場しました。結果はベスト4で甲子園の舞台にはあと一歩届きませんでした。秋、春と何も結果を残せず、応援して下さっているたくさんの方々の期待を裏切ったばかりでした。

暑い中、球場に駆けつけ声援をくださった、本当にありがとうございました。今後とも応援をよろしく願っています。



野球部主将
33 HR 井手尾 哲兵
(名古屋市長有松中出身)

夏こそは!

朝早くから夜遅くまで練習に励む野球部の皆さんの声や打球音は、私たちが練習する7階の音楽室までよく聞こえていました。その練習の気迫に、私たちの気持ちも引き締まりました。今回の県大会ベスト4という結果は日々の努力の成果であると思います。私たちの応援が、少しでも野球部の皆さんに届き、後押しになっていれば嬉しいです。

暑い夏をありがとうございました。これからも野球部の皆さんの活躍を、部員一同応援しています。



吹奏楽部
310 HR 古市 芽衣
(藤枝明誠中出身)

戮力協心!

灼熱のスタンドを真夏の太陽に負けない暑さで応援を届けることに決め、私たちの夏の野球応援がスターになりました。3部活1委員が丸ごと1人スタンドから全力で選手の方々にエールを送り続け、仲間と支え合いながら最後まで応援することができました。

チャアリーダーとは、ただ睡るために存在しているのではなく、チャアリーディングは応援を通して仲間を力にするためにあります。私たちがスタンドに



チャアリーディング部
キャプテン
310 HR 大塚 結衣華
(藤枝明誠中出身)

全員で届けた応援

様々な学びがあった！夏休みの体験

海外留学、ボランティア活動やオープンキャンパス参加などの夏休みの体験を発表

海外留学



英数科プログレッシブコース
29 HR 伊藤 香暖
(掛川市立北中出身)

海外留学とストライキ

好奇心、憧れ、不安が入り混じる中、カナダのトロントへ海外留学に行きました。フライトは13時間。時差ボケによる体調不良で意識がおぼろげな中、初日はホストファミリーの方に学校までの行き方を教えてもらいました。案の定、バスを乗り間違え、最初の3日間はハプニング続きでした。

学校は多国籍で、授業中でもすごく自由で最初には驚きましたが、陽気な方が多く、すぐ順応する事ができました。街並みは歴史的建造物がたくさんあり、多民族・多文化で、すごくにぎやかでした。しかし、貧富の差が目につき、所々でホームレスの方を見かけることがありました。郊外には治安の悪い場所があり、近づいてはいけないと教えられ、恐ろしくも思いました。日本との違いを至極感じた場面でした。街中では、トランスジェンダーの方が多く、女装をしている男性の方を見かけました。なにもかもが新鮮で、異文化について知ることができ、いい機会になりました。

滞りもあと数日となった時、航空会社エアカナダから一通のメールが届きました。ストライキにより、エアカナダのロッキアウトと書かれていました。日本では耳にしないう単語に私は困惑しましたが、自分なりにネットを使ってストライキの詳細と情勢を調べました。先が見えない不安の中、航空券手配の代理店とエージェンツの方と連絡を取り、なんとか予定より一週間ホームステイを延長し、チケットを振り替えてもらうことができました。

初めての海外で予想外の経験をしたのですが、無事に帰国できた今では、これでもいい経験になったと思う事ができます。

海外留学



英数科国際教養コース
26 HR 菅ヶ谷 桜
(Bawijaya Smart School・インドネシア出身)

トビタテ制度を活用し、オンラインで自分の興味を追求！

文部科学省主催の「トビタテ」留学JAPANNプログラムで、8月1日から約5週間オランダでの短期留学に挑戦しました。私はアルクマール、アムステルダム、ドロンテンの3都市に滞在し、オランダ語の語学学校に通いながら、現地在住の外国人へのインタビューや移民受け入れ施設の訪問などを実施しました。これらの都市はそれぞれ異なる魅力があり、オランダの多様性を肌で感じることができました。

特に印象的だったのは、オランダの人々が思ったことをはっきり伝える文化です。相手の反応を気にしすぎず、自分の考えを率直に伝える姿勢は、とても前向きで学ぶ点が多いと感じました。イラン、パキスタン、トルコから来た難民の方々と話すことで、この世界には自分の知らない、全く異なる現実があることを実感しました。彼らの生い立ちや経験は様々で、想像を絶するものばかりでした。



オープンキャンパス



英数科プログレッシブコース
39 HR 中村 悠人
(藤枝明誠中出身)

決め手はオープンキャンパス

高校生として最後の夏休みは、来たる大学受験に向けてオープンキャンパスに行くなどして過ごしました。そこで目にした大学の設備や学生の姿から様々なものを感しました。

オープンキャンパスの目的は、「その大学の雰囲気や味わうこと」だと思います。単に説明が欲しいのならばパンフレットやホームページの情報で十分なはずですが、しかしそれだけではいいのじゃないか。オープンキャンパスとは試食のようなもの

です。大学に「行く」からこそ、その大学の雰囲気や味わう味わって見つけた大学は入学後の4年間の満足感が大きいと思います。森の中の静かな場所にある大学、都会で様々な刺激を受けることのできる大学、活発な学生が多い大学、真面目な学生が多い大学、など、色々な観点から大学のもつ雰囲気をみると、必ず自分に合った大学が見つかるようにして自分にとって合った大学を見つけ

られれば、入学後の後悔が少なく、何より強く志望できると思います。今夏私はいくつかの大学のオープンキャンパスに参加し、各大学でそれぞれの「雰囲気」を感じ取りました。私は、その中で見つけた、真面目な学生が多く、設備が新しく整っている大学を志望することに決めました。



オープンキャンパス



英数科プログレッシブコース
27 HR 武本 英紘
(焼津市立港中出身)

看護を学ぶ未来に向けて

私は今回夏休みを利用して静岡県立大学のオープンキャンパスに参加しました。小鹿キャンパスで行われた看護学部の模擬講義や実習体験を受講し、参加前には想像でしかなかった大学生活の雰囲気を肌で感じる事ができました。校舎内は実際の病棟のような造りになっていてとても清潔感があり、校舎に入った瞬間から心地よい緊張感を感じました。

模擬講義ではストレスについての授業を受けた。書きをする高齢者体験をしました。また、基礎看護学では器具の役割や使用方法についての説明を受けたり、聴診器をつけて聴診の体験をしたりしました。看護の現場では必要となる知識や技術に触れたことで、将来看護の現場で働きたいという将来の夢がより自分の中ではっきりとしました。

このオープンキャンパスを通して、静岡県立大学での学びや環境の魅力や強く実感しました。看護師になるという夢を実現するため、得た経験を糧に来年に向けて大学の情報を幅広く集めながら、勉強を邁進し学校生活をより一層励みたいと思います。

ボランティア



英数科国際教養コース
26 HR 西尾 天希
(吉田町立吉田中出身)

ボランティアから学んだ社会経験と未来への一歩

私は昨年と今年の夏、静岡県ボランティア協会が運営しているサマーショートボランティアに参加しました。中学2年生の時、新型コロナウイルスの影響で職業体験をすることができず、高校生では社会経験をしたいと思っていたことが参加のきっかけです。このボランティアでは、老人ホーム、特別支援学校や保育園など児童と福祉に関わる施設での経験ができます。これらの中から希望を3つ選び、協会によってボランティア

先が選定されますが、私は2年連続で保育園が活動場所となりました。活動期間は4日、1週間、保育園では子供たちと遊ぶ、お昼寝の準備をする、教材づくりといったことが主な内容でした。私は昨年、6歳児のクラスを担当しましたが、今年は3歳児のクラスを担当しました。勝ちな負けの遊びを好み、食事の時にはお箸を使う子供が多い、礼儀もある程度身につけていた昨年の6歳児に比べ、今年の3歳児はパズルや虫取りといった遊びを好み、食事はスプーンやフォークが中心で自己主張が強いといった違いがありました。この違いから、子供の成長のスピードの速さやその幅の大きさ、そして年齢やその子の成長度合いに合わせた保育の重要性を学びました。昨年から実際にボランティアに参加したこと、社会の一端を見ることができました。また子供だけでなく保育士や親など、様々な視点で物事を捉え、どのような気持ちでなにかを考えることの大切さを学びました。この経験によって自分の視野が広がったと感じています。この活動を、スキルカウンセラーという将来の夢の実現に繋げていきたいです。

台湾研修



普通科リベラルHSコース
25 HR 畠山 佑香
(藤枝明誠中出身)

非日常の体験

私はボーイスカウト静岡県連盟志太地区が主催する、台湾研修に参加しました。目的はホームステイを通じて国際的視点を養い、台湾の文化を知ることです。

台湾に到着し、最初にウェルカムパーティーに参加しました。そこで初めてホームステイ家族と出会い、話をしました。会話の速度が速く、コミュニケーションを取る事ができませんでした。自分が本当に言いたいことを伝えられませんでした。日本で学習している英語とは違った英語のように聞こえました。

この経験は私にとって日々の行動を考えさせられる機会となりました。これからの失敗を恐れず、いろいろなことに積極的に挑戦していきたいです。

台湾ではほかにも様々な人に出会いました。台湾の人たちは温かく、私たちを喜ばせることが好きでした。中には日本語が話せる高齢者の方もいました。そこから、日本が台湾を植民地にしたという名残を肌で感じる事ができました。

さらに私はこの研修で人の温かさや日本では体験できないことを体験することができました。知らない地で一人でホームステイをしてコミュニケーションもままならない環境で大変なこともたくさんありました。それでも現地の人がスマホ等の翻訳機能を使って教えてくれたり、英語で伝えようとしてくれたりして助けられました。

この経験は私にとって日々の行動を考えさせられる機会となりました。これからの失敗を恐れず、いろいろなことに積極的に挑戦していきたいです。



入学から半年経って思うこと

4月に入学して半年。藤枝明誠で経験したこと、学んだこと。

入学から半年とこれから



普通科
12 HR 武井 晶大
(富士市立富士宮第四中出身)

藤枝明誠に入学して半年が経ちました。12 HRは

とても明るくて元気がよく、楽しい高校生活を送っています。また、人に迷惑をかけないように全員が

相手の気持ちを考え行動したり、整理整頓を心掛けたりにしています。

これまでの生活を振り返り、これから力を入れて取り組んでいきたいことは学習と野球です。

1つ目の学習は、高校で学ぶ内容は中学よりも難易度が上がり、また1年生の成績が大学受験にも大きく影響します。そのため

日々の授業を真剣に受け、テスト1週間前から隙間時間を活用して勉強に取り組むようにしています。その結果、前回の定期テストではクラスで1位を取ることができました。今後継続して、良い結果を残していきたいです。

2つ目は野球です。私は野球部に所属しており、部の目標である「甲子園で勝つ」を達成するために全力で取り組んでいます。特に

この秋は東海大会で優勝するために、「小事は大事を生む」という言葉を大切にしています。一人ひとりが小さなことを積み重ね、県大会さらに東海大会で優勝を勝ち取れるように、これからも日々全力で練習に励んでいます。

この3年間の高校生活で「明誠に入って良かった」と思えるよう、1分1秒を無駄にせず、毎日を大切に過ごしていきたいです。

文武不岐



英数科アクティブASコース
16 HR 川鍋 飛真
(藤枝市立青島中出身)

藤枝明誠高校に入学して半年が経ちました。最初は高校の生活、勉強、部活動に対して、不安な気持ちを持っていましたが、学校生活を送るたび少しずつ慣れていくことができ、ク

ラス目標である「文武不岐を意識し、学業と部活動の両立に励むことができました。

学業面では、授業の内容も中学に比べて難しくなり、特に数学ではわからない問題に悩まされてしま

う問題に悩まされてしまっていることもありました。が、4ステップで復習、ノートを通じて先生にわからない問題を質問するなどして理解を深めることができました。

部活動では、陸上競技部

に所属し、練習環境が変化の中、少しずつ力をつけていきました。しかし、怪我をして走れない時間が多くなり、「みんなから置いていかれる」と感じる悔しい半年間を過ごしました。

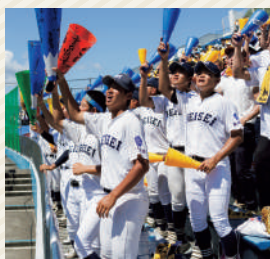
しかし、自分にできることを考え、周りをサポートする立場になったり、身体のケアに対する意識も強くなったりと、怪我から学んだことも多くありました。

「文武不岐」という言葉のように、勉強と部活動どちら

も一方ではなく、互いに影響を与えながら成長していき、両方で結果を残していきたいです。



入学式



夏の高校野球応援



青藍祭のステージ発表

納得できる毎日を



英数科プログレスコース
18 HR 秋山 美宥
(藤枝市立青島中出身)

ひとつになった思い出です。みんな準備する時間、その景色、雰囲気はどれも高校生活を実感できた一コマでした。

学習では、授業の進み具合が速いことに中々慣れず

苦戦しています。しかし歴史総合では、中学で学んだことを深掘りすることで歴史の詳しい経緯が分かり、「なるほど!」と納得できています。また、公共では「生命関係」などの興味深い課

題をグループで調べる学習が楽しいと感じています。こうしてみると、深掘りや調べ学習が好きなんだと、受験勉強では分からなかった自分の興味にも気付きました。一方、課題は山積みで、最も意識しているのが時間の使い方です。特に数学などの学習時間の確保、解説に頼らずに自分で考える時間の捻出など、時間を調整するということを始めました。睡眠時間の確保もしながら、自立した生活を送っていききたいです。高校

の3年間はあったという間のだろうと、改めて気持ちを引き締めています。未来に向かい、一日を大切にしたいと思います。

の3年間はあったという間のだろうと、改めて気持ちを引き締めています。未来に向かい、一日を大切にしたいと思います。

東京グローバルゲートウェイ 英語体験を通して学んだこと



英数科国際教養コース 26 HR 小澤 海斗 (島田市立島田第二中出身)

私たちは8月22日に東京グローバルゲートウェイへ研修に行きました。研修中は日本語を使うことができず、英語のみで会話をしなければいけませんでした。そして、そのルールの中で沢山のことを経験しました。施設にはショッピングや旅行代理店など実生活を想像しやすいような様々なシチュエーションの部屋が用意されており、そこで先生(現地ではエージェントと呼ばれる)とやり取りをしていきました。

例えばホテルでは、部屋のエアコンが故障したので修理をしてほしいという場面を、英語のみでやり取りしました。どのような表現をすれば良いかわからない場面もありましたが、エージェントの方々が笑顔で

話しかけてくれたので、緊張せずに話すことができました。

研修を通して、英語を使うことの難しさと同時に楽しさも感じました。最初は戸惑いや不安もありましたが、少しずつ自分の言いたいことを伝えられるようになり、自信ができました。

また、友達と協力して問題を解決する場面も多くあり、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。この経験は、英語力だけでなく、積極的に挑戦する姿勢や柔軟な考え方を身につける良い機会になったと思います。

今後もこの経験を活かして、もっと英語を使っていきたいです。



エントランスでの記念撮



オーストラリア・クィンズランド州の先生とコミュニケーション

イングリッシュ・サマー・キャンプ ともに学び助け合う



英数科国際教養コース 15 HR 松下 展久 (掛川市立栄川中出身)

私たち国際教養コース1年生は、8月22日から24日にかけて焼津青少年の家においてイングリッシュサマーキャンプに参加しました。このサマーキャンプはSDGsに関することを学びながら、最終的に班別に英語のプレゼンテーションを作り、英語で発表し、世界の様々なことを知りつつ英語の会話能力を上げるのが目的です。外国人の先生と日常を一緒に過ごしながら日常の会話能力を上げることもできました。1日目は世界の様々なことに関するレッスンを受け、コミュニケーションを図るパーティをしました。2日目はレクチャーを受けながらプレゼンテーションの準備を行いました。3日目には先生方の前で発表をしました。その中で私の印象に残ったのは協力することの大切さです。私の班が最初に作ったプレゼンでは短すぎたため、時間が多く余ってしまいました。

しかし、闇雲に時間を伸ばしても内容が相手に伝わらなければ意味はないため、試行錯誤を繰り返しました。2日目の夜の寝る前まで悩みましたが、完成には至らず当日の朝に持ち越しました。それでも、いいものを作りながら試行錯誤し班員と最後まで粘りながらプレゼンを作りました。本番では英語がたどたどしくなるところもありましたが、5分間のプレゼンテーションをやり遂げることができました。自分たちがこれまで英語に向き合って頑張ったということは個人の英語に対する自信につながりました。ここまで真剣になったのは、英語でコミュニケーションを取る姿勢、友達との協力、先生たちのサポートなどのおかげだと思います。私はキャンプを通して英語でコミュニケーションをとる大切さ、他人との協力、そして助け合うことを学ぶことができました。



最終日のプレゼンテーション



先生から修了証をいただきました

SCHOOL REPORT

大洲小学校・大洲中学校で学習ボランティアに参加



8月4日に大洲小学校、8月5日、6日に大洲中学校で夏の学習会が開かれ、本校の高校生が学習ボランティアとして、3日間で延べ60人余りの生徒がボランティアを希望し活動しました。

小学校では100人以上の児童が学習会に参加し、帰る際には「また来てね」という声を聞くことができました。参加した高校生も「教えることは難しかったが、参加してよかった」等の感想を持ちました。

中学校では学習会に参加した中学生が少なかったこともあり、高校生がマンツーマンでサポートにつくことができました。英語と数学に分かれて行いましたが、「高校生が自分のペースに合わせて教えてくれたから、内容が入りやすく安心できた。少し英語が好きになった。興味も出た」などの感想を言ってくれました。高校生にとって2時間あまりの時間でしたが、貴重な経験となりました。



意欲的な活動をする生徒たちを応援するため、ご協力をお願いします。

ご寄付のお願い

藤枝明誠中学校高等学校では部活動への支援や教育施設・設備整備のための寄付金を募集しております。詳しくは学校ホームページまで。
(寄付金額に応じて税制上の優遇措置を受けることができます。)

寄付募集要項

目的／学教育環境の充実を図ることを目的とします
 使途／施設・設備等の整備や部活動への支援のため
 募集期間／令和8年3月31日まで
 寄付方法／現金または振込でお願いします

■ 詳しくは学校ホームページをご覧ください

<https://www.fgmeisei.ed.jp/donation/>



USAアーリーディング&ダンス学生新人大会2025EAST

高校編成 Show Cheer部門 Novice 第2位



普通科リベラルHSコース
24HR 土屋 那奈
(藤枝明誠中出身)

最高学年として

私たちチアアーリーディング部は先日行われたUSAチアアーリーディング&ダンス学生新人大会2025EASTに出場し、2位を獲得しました。

高校3年生が引退し、完全に新体制となった状態で臨む初めての大会ということもあり、緊張や不安が多くなりました。チームがなかなかまとまらず、初めて最高学年となった高校2年生はチームを引っ張っていくことの難しさを痛感しました。しかし、多くの先輩方に練習を見ていただき、アドバイスも頂いた事や、下

級生達の積極的なサポートもあり、チーム全体の雰囲気も良くなっていました。また、演技の課題であるシンクロ性を少しずつ改善していくこともでき、自信に繋がりました。

しかし、本番では思うように練習の成果を発揮できず、悔しさの残る演技となりました。多くの反省がありました。この悔しさをバネに、私たちはまた新しい目標を持って日々成長していきます。



第49回全国高等学校総合文化祭 かがわ総文祭2025囲碁部門 第49回文部科学大臣杯 全国高等学校囲碁選手権大会



私は7月の後半に香川県で他校との混合チームで団体戦へ、8月前半に東京都で個人戦へとこの夏は2つの大会に出場しました。

1つ目の大会では有名な金比羅山のある琴平へ行きました。加藤学園、浜松北高校の2名と計3人で団体戦へ出場しました。この大会では、全体22位という結果で終えることができました。香川県では、有名なうどんを食べたり、他県の出場者と親しくなったりと、たくさんの経験ができました。

2つ目の大会では初日の初戦リーグで2勝1敗という結果で、2日目に残ることはできませんでしたが、同じ初戦リーグには今大会の優勝者もあり、私に足りない点を改めて感じるようになりました。

2つの大会を通じてまた1つ成長することができました。この経験を大切に、来年結果を残せるようにこれからも全力で取り組んでいきたいと思っています。

2025 開け未来の扉 中国総体 2025!

令和7年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 4年連続15回目のインターハイ出場を果たす。



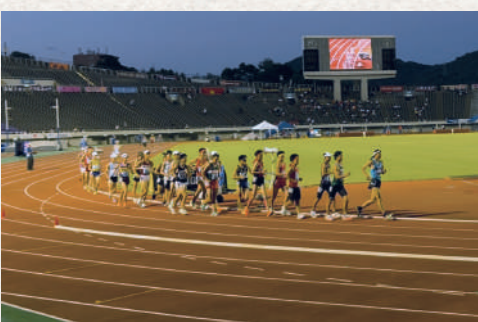
CHALLENGER!

普通科リベラルHSコース
34HR 野津 洸創 (兵庫県甲南中出身)

私たちは7月28日から開催された岡山インターハイに出場しました。自分たちの中でどこか受け身になってしまっていた部分があり、これが敗因につながってしまったと思います。この結果を通して、残念ながら「藤枝明誠バスケットボール部は強い」という印象は薄れてしまったと思います。これを覆すことができるよう、今はチーム全員でゼロから練習に取り組みんでいます。夏休みの期間は長野で合宿も行っただことチームの一体感を高めたり、チーム全員の精神面を成長させたりすることができました。これから私たちは、相手を待って構える受け身ではなく、どんどん挑んでいくチャレンジジャーでなければいけません。この気持ちを忘れず、まずはウィンターカップの静岡県予選を勝ち上がり、本選で戦えるように励んでいきます。この夏の悔しさを必ず、晴らします。



令和7年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 5000m競歩種目で東海大会3位入賞、全国大会へ!



目指していた舞台

普通科リベラルHSコース
34HR 鈴木 大雅 (焼津市立焼津中出身)

私は7月25日から29日におこなわれた全国高校総体の5000m競歩に出場し、21分54秒でゴールすることができました。

初めての全国大会に対する緊張や、2日目のスタートリストの変更というハプニングなどを経験しましたが、それ以上にこの場を楽しみ、全力を尽くそうと気持ちを新たに挑みました。結果、自己ベストを50秒近く更新することができました。この競技を始めて約2年と短いですが、全国大会の舞台に出られたこと、そしてベストを出せたことは、高校生活の大切な思い出です。それ以上に、チームの支え、応援の大切さや沢山の方が私のために動き指導してくださったことを感じ、これらは他ではできない貴重な経験だったと思います。

この経験に感謝をし、さらなる高みを目指すため、この大会をひとつの通過点として、また一から練習に励んでいきます。

心奏響感



英数科プログレスコース
39HR 栗山 由衣
(藤枝明誠中出身)

吹奏楽部は7月31日におこなわれた第66回静岡県吹奏楽コンクール中部地区大会で金賞を受賞し、県大会に出場することができました。

吹奏楽は全員で一つの音楽を作ることが魅力であり、一方で難しさでもあります。この1年間、中学生から高校生まで年齢差のあるチームをまとめて引く張っていかうえで、思うようにいかず悩むことも多くありました。その度に話し合いを重ね、改善を図ってきました。このような苦難を乗り越えたことで、コンクールという大舞台に自信をもって臨むことができ、その場を楽しみながら明らかな温かみのあるサウンドを会場に響かせることができました。この結果は、さらに自分たちの練習や演奏への自信につながりました。

これからさらに磨きをかけ、聴く人の心を動かす演奏を目指していきますので、今後も応援をよろしくお願いします。

この大会を終えて



英数科プログレスコース
210HR 清水 小春
(藤枝明誠中出身)

私は7月の後半に香川県で他校との混合チームで団体戦へ、8月前半に東京都で個人戦へとこの夏は2つの大会に出場しました。

1つ目の大会では有名な金比羅山のある琴平へ行きました。加藤学園、浜松北高校の2名と計3人で団体戦へ出場しました。この大会では、全体22位という結果で終えることができました。香川県では、有名なうどんを食べたり、他県の出場者と親しくなったりと、たくさんの経験ができました。

2つ目の大会では初日の初戦リーグで2勝1敗という結果で、2日目に残ることはできませんでしたが、同じ初戦リーグには今大会の優勝者もあり、私に足りない点を改めて感じるようになりました。

2つの大会を通じてまた1つ成長することができました。この経験を大切に、来年結果を残せるようにこれからも全力で取り組んでいきたいと思っています。

第66回静岡県吹奏楽コンクール中部地区大会 高等学校A編成金賞、県大会出場!



藤枝市「藤枝市次世代環境リーダー育成事業」



英数科プログレスコース
210HR 植木 祥瑛
(藤枝明誠中出身)

僕は藤枝市の「藤枝市次世代環境リーダー育成事業」に参加し、脱炭素と自然環境の未来を考えるという研修目標のもと、8月18日から8月23日の日程でハワイのオアフ島に行ってきました。ハワイではトヨタの水素発電施設で一般的なガソリンで動く自動車よりも大幅に二酸化炭素の排出量を少なくできる水素を基にしたエネルギー、ハイドロジンを紹介してもらいました。また、ナチュラルイキキというレストランでは日本人のナエさんというハワイに移住した方から、現地のSDGsへの取り組みについて教えていただきました。

・・・環境問題との向き合い方・・・



他にも様々な場所に行き、環境問題に対する取り組みを教えることができました。

日本人は環境問題に対して「いつたらいいのでは」とそれぞれに考える人は多いと思いますが、実際にそれを実践できている人は多くはありません。自分一人がやっても変わらないと思う人が多いからだと思います。ハワイと日本では「ここが違う」と明確に知ることができた研修でした。

【ライフル射撃】
チーム・ライフル少年女子立射60発競技

自分を信じて
英数科プログレスコース
37HR 橋ヶ谷 果歩 (藤枝明誠中出身)

私は10月4日から7日に大阪府で行われるライフル射撃競技で国民スポーツ大会に出場します。大会に出場できるまで本当に長い道のりであり、苦悩を抱えていたが、諦めずに努力を積み重ねていったことで出場権を獲得できたと思います。そして、私が国民スポーツ大会に出場できるのは、私に協力してくれた親や先生、指導してくださっている方々のおかげでもあり、大変感謝しています。

大会では自分を信じて「今まで射撃をやっている良かった」と感じられる、満足のいく結果が出せるように、全力を尽くして頑張ります。

【ライフル射撃】
チーム・ライフル少年男子立射60発競技

意識をかえて
普通科リベラルHSコース
24HR 秋山 和輝 (藤枝明誠中出身)

私は10月に行われる国民スポーツ大会のライフル射撃競技に出場します。先日の東海ブロック大会では623点を記録し、自己ベストを更新、第2位で進出することができました。昨年の自分はなかなか思うような結果が出せませんでしたが、練習や調整を繰り返し、少しずつ記録を伸ばしてきました。それでも目標とする点数には届かず、悔しい思いもありました。しかし、試合での意識を少し変えるだけで、大きく記録が変わることを実感しました。その結果、東海ブロック大会で自己ベストを更新し、目標としていた点数を超えることができました。

この時の感覚を忘れず、国民スポーツ大会では、精一杯の力を出し切って、良い結果を残します。

【バスケットボール】
少年男子

全国大会に向けて
英数科アクティブASコース
16HR 永尾 咲翔 (千葉県市原市立ちはら台南中出身)

私は静岡県代表として、8月末に地元静岡で行われた東海大会に出場しました。7月末からチーム静岡としての活動がスタートしました。短い期間の中での練習や遠征でチームスタイルを確立することにとても苦労し、たくさんの課題がありました。しかし、東海大会が近づくにつれ、静岡県の代表選手としての自覚が芽生え、上手いできないことを選手間で積極的に話し合い、修正していきました。東海大会ではチームとしてやるべきことを徹底し、一人ひとりが役割を全うし、最後まで戦い抜きました。結果は2位となってしまいましたが、全国大会への出場を決めることができました。県の代表としてふさわしい行動をし、目標である優勝を目指して頑張ります。

国民体育大会	11HR 福本 彩人	12HR 端野 恵音	16HR 永尾 咲翔
バスケットボール	12HR 須貝 頼勇	12HR 濱崎 煌大	16HR 森 秀野
少年男子出場選手	12HR 関口 凜太郎	13HR 永留 悠星	

SHIGANOHE 国民スポーツ大会 第79回国民スポーツ大会が9月28日よりスタートします。 頑張ってください!!!